

2024 年 12 月 13 日

（宛先）港区長

住所 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号

氏名 株式会社新都市ライフホールディングス
代表取締役社長 田中 伸和

（法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

港区地球温暖化対策報告書提出書

港区民の生活環境を守る建築物の低炭素化の促進に関する条例第15条第1項の規定に基づき、下記のとおり提出します。

記

事業者名		株式会社新都市ライフホールディングス			
事業者所在地		東京都新宿区西新宿六丁目5番1号			
連絡先	事業者名	株式会社新都市ライフホールディングス			
	所属名	経営企画部 CSR・BCP推進室			
	担当者名	福土 千晴			
	電話番号	【固定電話】	0353232325	(ハイフンなし)	
	メールアドレス	fukushi-c	@	nul.co.jp	
	備考				
地球温暖化対策報告書提出事業所一覧	1	事業所等の名称	コラム南青山		
		事業所番号	20124-00154	提出様式	都_報告書様式
	2	事業所等の名称	アール南青山		
		事業所番号	20124-00155	提出様式	都_報告書様式
	3	事業所等の名称			
		事業所番号		提出様式	
	4	事業所等の名称			
		事業所番号		提出様式	
	5	事業所等の名称			
		事業所番号		提出様式	
	6	事業所等の名称			
		事業所番号		提出様式	
	7	事業所等の名称			
		事業所番号		提出様式	
	8	事業所等の名称			
		事業所番号		提出様式	
	9	事業所等の名称			
		事業所番号		提出様式	
	10	事業所等の名称			
		事業所番号		提出様式	

港区地球温暖化対策報告書制度

港区民の生活環境を守る建築物の低炭素化の促進に関する条例第15条に基づき、港区長に次のとおり地球温暖化対策報告書を提出しました。

報告年月日

2024年12月13日

事業所番号

20124-00154

事業所等名称

コラム南青山

事業所等所在地

南青山7-1-5

延べ面積

8,389.74㎡

事業所の主たる用途

事務所

二酸化炭素排出量
(燃料等の使用に伴うもの)

447 t-CO₂

二酸化炭素排出量原単位
(延べ面積当たりの排出量)

53.2 kg-CO₂/㎡

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	コラム南青山												
事業所番号	A	0	8	7	3	—	0	0	0	7			
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	6	2	区市町村名 港区			
	町名番地以下	南青山7-1-5											
事業所等の延床面積	8,389.74			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	230	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	447	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	449	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	53.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	46,647.9	45.00	2,099.2	0.0136	104.7	
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の 電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
		その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	700,217.0	9.76	6,834.1	0.4890	342.4	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合 計							⑭	8,933.3	⑮	447.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,131.0			0.2660	1.1	
	公共下水道		☐	m ³	4,131.0			0.4000	1.7	
合 計									⑯	2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策			E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一括借受者に対し、節電に努めるよう依頼。さらに、平成30年度は空調機器を更新するなど、高効率機器への改修を実施している。

港区地球温暖化対策報告書制度

港区民の生活環境を守る建築物の低炭素化の促進に関する条例第15条に基づき、港区長に次のとおり地球温暖化対策報告書を提出しました。

報告年月日

2024年12月13日

事業所番号

20124-00155

事業所等名称

アール南青山

事業所等所在地

南青山3-50

延べ面積

773.58㎡

事業所の主たる用途

その他

二酸化炭素排出量
(燃料等の使用に伴うもの)

70 t-CO₂

二酸化炭素排出量原単位
(延べ面積当たりの排出量)

90.4 kg-CO₂/㎡

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	アール南青山											
事業所番号	A	0	8	7	3	—	0	0	3	0		
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	6	2	区市町村名 港区		
	町名番地以下	南青山3-50										
事業所等の延床面積	773.58			m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)					
	☐ 工場			☐ 複合施設			☒ その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店		☐ 加盟店		☒ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	36	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	70	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	71	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	90.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	2,750.1	45.00	123.8	0.0136	6.2
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の 電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
		その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	132,182.0	9.76	1,290.1	0.4890	64.6
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※			kWh	⑬0.0	9.76	⑭0.0	0.4890	⑮0.0
合 計						⑭1,413.9		⑮70.8	
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,065.0			0.2660	0.5	
	公共下水道	☐	m ³	2,065.0			0.4000	0.8	
合 計								⑮1.4	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

平成28年9月取得。